

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

公営企業会計		事務事業分類		基礎点検	
事務事業名		D 建設・整備事業		D 建設・整備事業	
担当部署名		シート番号		60-16	
上下水道 局		水道 部		水運用管理 課	
		評価責任者(課長名)		門 田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の環境文化の創造	有
	2	事業開始年度	昭和 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	水道法			
	4	関連計画	堺市上下水道ビジョン、上下水道事業単年度実施計画			
5	事業実施の経緯	大規模事業である水道事業は、事務事業の実施に伴う電力消費量が大きいことから、省エネルギー化の推進などにより、温室効果ガス排出量を削減する必要があるため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (家原寺配水場) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民をはじめとしたお客さま			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・岩室配水場から高池用と超高池用のポンプで岩室高地配水池へ送水しているが、企業団が布設する河南連絡管に新分岐を設置し岩室高地配水池で企業団から直接受水することにより、CO2及び電力量を削減するとともに、岩室高地配水池が岩室配水場と新分岐の2系統受水となり、事故時のバックアップを可能にする。 ・陶器配水場に小水力発電設備を設置することで、CO2の削減と、発電した電力を売電することで収入を確保する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	◎小水力発電設備設置に関する工事等の実施 ・陶器配水場ほか電気設備工事 (H28-H30) ・陶器配水場コントローラ盤改造外工事 (H28-H30) ・水運用管理システムソフトウェア変更業務 (H28-H30) ◎陶器山分岐の設置 ・分岐管布設工事(大阪広域水道企業団)(H30-H31) ・電気計装関連工事(大阪広域水道企業団)(H31-H32) ・陶器山新分岐～岩室高地配水池の受水管布設工事(堺市)(H32) ・新分岐からの受水開始(H33)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 フソウ・有吉電機工業建設工事共同企業体、メタウォーター(株)、関西日立(株)、大阪広域水道企業団				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算
事業費(a)	千円	0	0	456,694	14,000
11 主な事業費内訳	陶器配水場小水力発電設備設置外工事実施設計業務	千円	0	0	0
	陶器配水場ほか電気設備設置工事など	千円	債務負担	債務負担	455,711
	新分岐設置の設計委託に伴う負担金	千円	0	0	983
		千円			
12 財源内訳	国・府支出金	千円			
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円			
	市債	千円			
	その他( )	千円			
一般財源	千円	0	0	456,694	14,000
12 人件費(b)	千円	8,200	8,200	8,200	2,430
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,200	8,200	464,894	16,430